



ドイツ証券株式会社、貸付債権担保 S 種第 12 回住宅金融支援機構債券で共同主幹事

【2008 年 12 月 18 日、東京】—ドイツ証券株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：デイビッド・ハット）は、本日、独立行政法人住宅金融支援機構による総額 1,000 億円の貸付債権担保 S 種第 12 回住宅金融支援機構債券（以下、RMBS）発行で、日興シティグループ証券、野村證券とともに共同主幹事を務め、本債券の条件を決定した旨を公表しました。本案件は、ドイツ証券株式会社にとって、貸付債権担保住宅金融支援機構債券の RMBS 発行における 5 回目の主幹事案件となります。

この度の RMBS は、発行額は 1,000 億円、表面利率 2.15%、発行価格は 100 円、最終償還日は 2040 年 11 月 10 日です。また、払込期日は 2008 年 12 月 26 日で、利払日は 2009 年 2 月 10 日を第 1 回として毎月 10 日となっています。

本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）およびスタンダード&プアーズ（S&P）から AAA（トリプル A）の格付けを取得しています。

ドイツ証券株式会社のグローバル・マーケット統括本部長であるマージオ・カイリンは、「当社は、この度、住宅金融支援機構の RMBS 発行において、5 回目の主幹事を務めました。クレジット市場は最も危機的な状況からは脱したものの、未だ信用不安を払拭しきれていない中、本案件の条件決定が無事終了されたことは、発行体および投資家各位、並びに市場関係者の皆さまのご協力とご尽力によるところが大きく、改めて深く感謝の意を表します。また、こうした困難な市場環境においても、我が国の証券化市場において最大の実績をもつ住宅金融支援機構による RMBS 発行を支援できたことを大変光栄に思っています」と述べています。

さらにカイリンは、「当社は、顧客の財務・経営戦略に沿った幅広いニーズに対応するため、グローバルの金融市場で培った高い専門性と総合力を積極的に活用しています。今後も顧客重視の姿勢を貫き、高い案件組成能力や取引執行力を発揮することで、証券化の複雑で多様なニーズにお応えしてまいります」と話しています。

以上

ドイツ証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 117 号
加入協会：日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は 8 万 1,308 人にのぼり、世界 75 カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては 1,439 名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（日本における代表者兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎 司）、DB 信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

リスクについて:

「貸付債権担保S種第12回住宅金融支援機構債券」は、金利水準の動向、及び、信託財産の資産の信用力や発行者の信用状況、金融市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生ずることとなるおそれがあります。

その他の留意事項:

本リリースは、ドイツ証券株式会社が「貸付債権担保S種第12回住宅金融支援機構債券」の発行についてお伝えすることのみを目的として作成したものです。当該債券を当社との相対取引により購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。なお、購入対価に別途、経過利息をお支払いいただく場合があります。また、「リスクについて」で記述されている通り、発行体の信用や市場・経済動向、価格の変動等により、また、内包される財務、法律、税務、会計上などのリスクにより、損失を生じるおそれがあります。当該商品への実際の投資にあたっては、「目論見書」並びに「契約締結前書面」等をよくお読みになり、内容についてご理解・ご承諾のうえ、お客様ご自身のご判断で投資いただくようお願い致します。